

会議録

会議の名称	平成28年度 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成28年11月16日（水） 午後7時から9時まで
開催場所	保谷庁舎 1階会議室
出席者	委員：赤澤委員長、廣瀬副委員長、有賀委員、岸上委員、中平委員、西田委員、山本委員、藤江委員、湯山委員 （欠席委員：小堀委員） 事務局：田中文化振興課長、林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	1 平成28年度第2回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について 3 「平成28年度施策・事業評価（平成27年度分）」推進委員評価コメントについて 4 その他
会議資料の名称	1 平成28年度第2回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案） 2 計画中期の取組実施報告について 3 「平成28年度施策・事業評価（平成27年度分）」推進委員評価コメント一覧 ＜参考資料＞ ・「西東京の教育（「対話による美術鑑賞」取組報告）」写し ・「第2回下野谷遺跡国史跡指定記念シンポジウム」チラシ ・「くいしんぼのさんぽ市」チラシ ・「第15回自主制作映画コンペティション」チラシ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>＜開会＞</p> <p>○委員長： ・定足数と出席している委員を確認</p> <p>（配付資料について）</p> <p>○事務局： ・参考資料として「西東京の教育（「対話による美術鑑賞」取組報告）」写し、「第2回下野谷遺跡国史跡指定記念シンポジウム」チラシ、「くいしんぼのさんぽ市」チラシ、「第15回自主制作映画コンペティション」チラシを配付。 ・今回、教育委員会の11月1日号広報へ「対話による美術鑑賞」取組報告を掲載した。教育委員会の広報は、5月、7月、11月、3月の年4回発行しており、今後毎号に掲載</p>	

予定である。

- ・シンポジウムについては、明日から申込みが開始となるが、希望者はこの場で承る。

○委員：

・コンペティションは、5、6回前から誇れるレベルになっている。予選には、約100作品の応募があり、若手の応募も多く、ネット社会を扱った作品など内容も様々である。

議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について

- ・事務局から資料2に基づき説明。

【実施プログラム②「対話による美術鑑賞」事業の推進】

（市民向け「対話による美術鑑賞」体験会）

○事務局：

・11月20日に新町で開催される「くいしんぼのさんぽ市」で、アートミーアの自主的活動として、おしゃべりをしながらアート作品を鑑賞するおしゃべり美術鑑賞会を実施予定である。

（アートミーアの研修）

○事務局：

・今年度募集した3期生研修については、すでに7回を開催しており、その研修に1期生や2期生が参加し交流することにより、お互いがとてもいい刺激を受けているとの報告を受けている。

（小学校における「対話による美術鑑賞」事業の実施

○事務局：

- ・すでに3期生も参加し、アートカードゲーム等のサポートをしている。

【実施プログラム④文化ボランティアの育成】

（会場係ボランティア）

○事務局：

・会場係ボランティアを募集しており、11月15日現在9人の応募がある。新規の応募者については、まず、保谷こもれびホールの3公演で会場係ボランティアを体験していただく予定である。

【実施プログラム⑤文化芸術情報収集・発信の仕組みづくり】

（主な広報活動（市報以外）＜文化振興係分＞）

○事務局：

・多摩六都フェア事業で制作した、ドキュメンタリー映像「多摩六都の輝き」については、NHK等が主催の「地方の時代」映像祭コンクールに出品し受賞は逃したが、最終選考に残ったということで、本日大阪で上映される予定である。

・多摩六都フェア「映画制作プロデュース体験ワークショップ」プロット募集については、選考結果を発表し、現在ワークショップでプロット（あらすじ）を基に脚本を制作中である。

【その他】

(市民文化祭)

○事務局：

・昨日11月15日に市民文化祭が全て終了した。
・今年度は、市民文化祭の中で第1回目の「日本の文化体験フェス」を実施した。9種類17の体験を用意し、定員172人のところ400人もの応募があった。参加者126人のうち小学生が94人、外国人が18人の参加があった。

○委員：

・市の西部や南部に住んでいる人のために、市民文化祭PRinアスタを実施した。オープニングイベントでは、公募作品入賞者の表彰を行ったが、高校生の応募が多かった。また、あまり市民に触れる機会がない下野谷遺跡を題材としたアニメを上映し好評を博した。

・市民文化祭本番は、イベント展示が11月6日まで、菊花展は11月3日から15日まで実施した。今年は、親子教室では、箏や日本舞踊の参加者が年々増えている。働き盛りの人が参加するのは中々難しいが、子供の頃に経験していると、30～40年後に文化祭のメンバーとして帰ってくるのが期待できる。日本の文化体験フェスは今回第1回目であるが、日本の伝統文化の魅力を発信できたと思う。文化祭の本番にプラスして行ったが、指導者にも喜んで取り組んでいただいた。今年度の課題を改善しながら、来年度も引き続き行っていきたい。

(市民まつり)

○事務局：

・市民まつりは、今年度来場者数が196,000人（実行委員会発表）と過去最高となった。

議題3 「平成28年度施策・事業評価（平成27年度分）」推進委員評価コメントについて

・事務局から資料3に基づき説明

○事務局：

・推進委員の皆様から様々な意見をいただいたので、事務局案として取りまとめる前に、今回は、その意見の中から推進委員会の評価コメントとして、是非入れるべきであるというような意見をいただきたい。様々な意見があるので、当事者である委員の方からは異論、反論もあるかとは思いますが、この場ではあくまで推進委員会評価コメントとして取り上げたい意見を拾っていただきたい。もちろん、新たな意見もたくさんいただきたいと思う。

(施策番号② 幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実)

○委員：

・アートミーを保護者にはどのように周知しているのか。

○事務局：

- ・アートみーる募集の際に、小中学校の全児童生徒に募集チラシを配布している。

○各委員：

- ・こもれびホールは、スタインウェイのピアノを20年使用しているが1台しかなく不便を感じている。子供たちの発表会でも2台必要な場合がある。
- ・市民文化祭を見に行ったらお客様がまばらであったので、集客のための工夫が必要だと思った。
- ・市民文化祭の会場には、お客様が多いところもあれば少ないところもあるが、こうすれば良くなるというような建設的な意見がほしい。
- ・こもれびホールなど会場によっては多くの集客があると思う。
- ・市民文祭は多くの市民の参加があり、とても意義のある事業だと思う。
- ・西東京市の文化芸術を振興するというのであれば、図書館は大きくすべきである。
- ・西東京市に誇れるものをいくつかつくるべきである。
- ・評価コメントは両論併記でもいいのではと思う。

(施策番号③ 子供達の参加の機会の充実)

○各委員：

- ・子供の文化芸術発表の機会が少ない。学校の先生によって文化芸術活動に対する温度差があり、子供の発表の機会を維持するためにも学校以外の活動の場を増やしていく必要がある。
- ・施設利用に関しては、子供を優遇してもいいのでは。活動時期が夏休みだとか制限があるので、アドバンテージを与えてもいいと思う。
- ・小中学校の連携があるといいと思う。

(施策番号④ 個人及び団体活動のきっかけづくり)

○各委員：

- ・保谷こもれびホールのワークショップは、もっと増やしていきたいと思っている。
- ・市民文化祭の菊花展などは高齢者の参加が多いので、市民文化祭の会場なども高齢社会に合わせていく必要がある。

(施策番号⑤ 様々な人が参加しやすい環境づくり)

○委員：

- ・日本文化体験フェスは、外国籍市民や子供たちの参加希望がとても多かったので、続けていくべきである。

(施策番号⑥ 活動者のニーズ把握)

○各委員：

- ・昨年度の「利用者以外の人から意見を集める必要がある」という評価コメントに対して所管課がどのような取り組みをしているのかを知りたい。
- ・昨年度の「ニーズに左右されることなく、長期的な計画に基づいた市民が活動しやすい環境づくりに取り組んでいく必要もある。」という評価コメントを今年度の評価コメントにも入れるといいと思う。

(施策番号⑦ 文化芸術の情報拠点の明確化)

○委員：

・こもれびホールの実績で情報コーナーの利用状況の数字が出ているが、この数字でA評価でいいのか。

○事務局：

・評価については自己評価なので、あくまで目安と考えていただきたい。評価の基準が不明瞭な点もあるので、見直しも必要であると考えている。

○委員：

・図書館で「縁」を作成し発行したことは、とても素晴らしく他の実績の評価Aとは差があるように思う。Aプラスとかをつくるといいと思う。

(施策番号⑧ 文化芸術の情報拠点の明確化)

○委員：

・昨年度の「市民の活動場所の充実を図るには、スポーツ施設に限らず、あらゆる文化施設での相互利用など近隣市区との密接な連携が必要である。」という評価コメントを今年度の評価コメントにも入れるといいと思う。

(施策番号⑨ 文化財の保存・継承と活用)

○委員：

・下野谷遺跡で週末にイベントを開催し、人が多く集まるように同時に絵画教室などを行うといいと思う。

・西原の郷土資料室はとても充実しており、多くの人に見ていただきたいので、場所を移す検討をしたり、イベントとタイアップしたりするといいと思う。

・人を誘導できるようなパイロットルームを、アスタなど駅の近くやもっと見てくれる場所につくるといいと思う。

・モニュメントやレプリカをつくって各駅などに設置して、誘導するいいと思う。

・郷土資料室の看板を書家の先生に書いてもらうといいと思う。

(施策番号⑩ 地域の伝統文化についての検討)

○委員：

・伝統文化については、もっと外国人に体験してもらいたいと思う。

(施策番号⑪ 文化芸術を支える人材の育成と仕組みづくり)

(施策番号⑫ 文化芸術を支える人材の活用)

○委員：

・文化ボランティアの育成及び活用についてはある程度評価できる。

(施策番号⑬ 青少年や高齢者の文化芸術活動の支援)

○委員：

・特別なスキルを持っている高齢者は多くいると思うので、調査し人材登録をしてPRするいいと思う。

○事務局：

・社会教育課では、生涯学習活動を支援するために人材を登録して提供する制度をつくっているが、あまり活用されていないと聞いている。

(施策番号⑯ 近隣市や姉妹都市・友好都市との交流促進)

○委員：

・姉妹都市の下郷町から映画監督を招いたりする交流はとてもいいと思う。
・姉妹都市のPR促進は必要である。

(施策番号⑰ 市内関係機関等との連携)

○委員：

・大学から推進委員会に参加しているということは、市内大学との連携ということになるのか。

○事務局：

・平成27年度の主な実績にも入っているが、もちろん連携ということになる。

○委員：

・小中学校の連携が必要である。

(施策番号⑱ 文化芸術分野の専門化との連携)

○委員：

・昨年度の「市内在住や出身など地元アーティストの情報を積極的に集め、地元アーティストと連携した事業を推進していく必要がある、そのためにも、最新の情報が効果的に掲載されている情報サイトが必要である。」という評価コメントを今年度の評価コメントにも入れるといいと思う。

(総論)

○委員：

・計画の目指すべき姿として「市民一人一人が文化芸術を享受・創造・発信できる文化の香りあふれるまち」があるが、まだまだ多くの人が享受できていないと思う。
・事業のターゲットを見極める必要がある。
・文化芸術活動の当事者でない人のニュートラルな意見は、とても新鮮であり大切だと思うので、市民代表にもっと参加してもらってもいいと思う。
・文化芸術を振興するには、文化芸術に関心がある人がいいと思う。
・西東京市は、まだまだ文化の香りあふれるまちとなっていない。書道に関しては全く推進されていない状況である。
・各施策の評価コメントとは別に、全体の評価コメントを総論として設けてもいいと思う。

○事務局：

・今後の施策・事業評価の流れについては、本日委員の皆様からいただいた御意見を参考に、事務局で推進委員会評価コメントとして取りまとめ、次回推進委員会の前に委員の皆様へ御覧いただく予定である。まだ意見がある委員の皆様もいらっしゃると思うの

で11月30日までメールで引き続き受け付けたい。

なお、施策・事業評価結果報告書については、12月中に取りまとめ市長まで報告したいと考えている。

議4 その他

○事務局：

- ・ 次回の開催については、12月7日（水）の午後7時から保谷庁舎1階会議室に決定。

《閉会》